

音楽鑑賞会「クラシックの世界を体験しよう!」を 開催しました

岡山フィルハーモニック管弦楽団

岡山フィルハーモニック管弦楽団は、岡山にゆかりのある優れた演奏家を中心とするプロオーケストラで、岡山シンフォニーホールの開成を機に平成4年に設立されました。定期演奏会を始め、スクールコンサート、音楽鑑賞教室、ファミリーコンサート等、各地で数多くの演奏活動を実施し、県民・市民のオーケストラとして、音楽芸術普及・向上のために積極的に活動しています。
<http://www.okayama-symphonyhall.or.jp/okaphil/>

10/13 2022 開場 9:50 津山市加茂町文化センター
(木) 開演 10:15 「エスペリア」
(主催：津市庁 共催：加茂文化センター 協賛：津市立加茂文化センター 電話：0864-327319)

プログラム

- ①モーツァルト / オペラ『フィガロの結婚』序曲
18世紀中ごろオーストリア生まれの天才作曲家モーツァルトの代表的なオペラの序曲です。ワクワクする気持ちのメロディーで始まります。
- ②グィヴァルディ / 『四季』より「春」第1楽章
バロック音楽の代表的なヴァイオリン協奏曲です。鳥の鳴き声が聞こえてくるようです。
- ③楽団紹介
- ④パッフェルベル / 「カノン」
「カノン」というのは、同じメロディーを別の楽器が追いかけて演奏する音楽です。パッフェルベルはバロック時代のドイツの作曲家です。
- ⑤指揮者体験
- ⑥馬飼野儂二 / 『忍たま乱太郎』より「勇気100%」
「忍者のたまご」の乱太郎が活躍するテレビアニメの主題歌です。
- ⑦早野華余子 / 『鬼滅の刃』より「紅蓮華」
テレビアニメ『鬼滅の刃』のオープニングテーマです。思わず踊りたくなるリズムが特徴です。
- ⑧ヘンデル / オペラ『セルセ』より「オンブラ・マイ・フ」
イギリスで活躍したドイツ生まれの作曲家ヘンデルのオペラ『セルセ』の中で歌われる、ゆったりとした愛の歌です。
- ⑨オッフエンバック / オペレッタ『天国と地獄』から「カンカン」
ドイツで生まれ、フランスで活躍した作曲家オッフエンバックのオペレッタに出てくる楽しい音楽です。日本では運動会での定番曲となっています。
オペラ=歌を主とした音楽と演劇によって構成される総合芸術で、日本では「歌劇」とも呼ばれます。
オペレッタ=イタリア語の「小さいオペラ」に由来し、日本では「喜歌劇」と呼ばれます。

「クラシックの世界を体験しよう!」プログラム

10月13日（木）、津山市加茂町文化センター「エスペリア」で、令和4年度 加茂文化公演事業として、岡山フィルハーモニック管弦楽団 弦楽アンサンブルの7名の皆様をお迎えし、音楽鑑賞会「クラシックの世界を体験しよう!」を開催しました。



コンサート会場「エスペリア」入口

当日は、爽やかな快晴に恵まれ、加茂小学校、加茂保育園、そして保護者の方など合計230名の皆さんが、岡山フィルハーモニック管弦楽団による本物のクラシック音楽に酔いしれました。

岡山フィルハーモニック管弦楽団は、平成4年に設立された岡山にゆかりのある優れた演奏家を中心とするプロオーケストラで、定期演奏会をはじめとするさまざまなコンサートを数多く実施され、音楽芸術普及・向上のために活躍されています。

今回、お忙しいなか、津山市加茂地域の子どもたちのために、特別に弦楽アンサンブルを編成していただきました。普段クラシック音楽に接する機会の少ない子どもたちは、目の前でヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラヴァス等の弦楽器の奏でる優雅な調べにうっとり。

また、ヴォーカルのお姉さんの透き通るような美しい歌声や、ピアノのお兄さんの迫力ある演奏に感動していました。

保育園児や小学生など、本格的なコンサートは初めてという子どもたちも多かったようですが、開演のベルが鳴りアナウンスが流れると、それまでにぎやかだった会場内は一斉にシーンと静まり、演奏が始まるのをお行儀よく待ちました。



演奏会場は満員(新型コロナ対策で隣の席を空けています)

そして、最初の曲目、モーツァルト作曲、オペラ『フィガロの結婚』序曲の演奏が始まると、子どもたちは、びっくりしたような眼差しでステージ上の演奏をくいいるように見つめ、素晴らしい演奏に熱心に耳を傾けていました。続いて、ヴィヴァルディ作曲『四季』より「春」、モーツァルト作曲「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」、チャイコフスキー作曲「ピアノ協奏曲第1番」冒頭部分等の名だたる名曲が演奏され、岡山フィルハーモニック管弦楽団の演奏するクラシック音楽の素晴らしさに皆、圧倒されました。

また、「フニクリ・フニクラ」や「赤とんぼ」では、ホールに響き渡る美しい歌声に、会場の皆さんもびっくりしていました。



素晴らしいプロの演奏



透き通るような歌声



楽器紹介



指揮者体験

10分間の休憩を挟んで、後半最初はパッフェルベル作曲「カノン」が演奏され、優雅でしっとりとしたムードに包まれた会場でしたが、その後、園児と児童の代表3人による指揮者体験がありました。

指揮棒を持って緊張した面持ちの代表3人は、1人ずつ自分のペースで、ビゼー作曲、オペラ『カルメン』より「闘牛士」を指揮し、客席のお友達から拍手喝采を浴びていました。

そして、お待ちかねのアニメ音楽です。いつもテレビから流れてくる音楽とはちょっと違い、オーケストラ用の豪華なアレンジの『忍たま乱太郎』より「勇気100%」、今、話題の『鬼滅の刃』より「紅蓮華」と続くと会場は大きな歓声に包まれました。

その後も、ヘンデル作曲、オペラ『セルセ』より「オンブラ・マイ・フ」の素晴らしい歌声が会場に響き渡ると、子どもたちは感動した様子でした。

いよいよ最後の曲は、オッフェンバックの名曲、オペレッタ『天国と地獄』から「カンカン」です。

岡山フィルハーモニック管弦楽団の皆さんの熱い演奏に、子どもたちも拍手で応え、会場は大盛り上がり、演奏終了後も拍手は鳴りやまず、アンコールとして演奏されたJ・シュトラウス1世作曲「ラデツキー行進曲」では、ステージ上の岡山フィルハーモニック管弦楽団の皆様演奏と、客席の子どもたちの拍手で会場が一体となりました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で3年ぶりに開催された加茂文化公演事業 芸術鑑賞会でしたが、今回は音楽鑑賞会「クラシックの世界を体験しよう!」ということで、演奏曲目については子どもたちが親しみやすいメロディーながらも、本格的なクラシックの名曲を岡山フィルハーモニック管弦楽団の皆様に演奏していただきました。

あっという間の70分でしたが、クラシックの名曲の数々を岡山フィルハーモニック管弦楽団の皆様の素晴らしい演奏で聴いた子どもたち。

何より驚いたのは、演奏を聴いた子どもたちの熱心な眼差しと、礼儀正しい鑑賞態度、そして割れんばかりの大きな拍手でした。

「本物の音楽を、本物の演奏で加茂の子どもたちに届けたい!」

「幼い子どもたちでも、本物の素晴らしさはきっと伝わる!」

この想いは、今回、小さな子どもたちにも届いたようです。



拍手！拍手！！拍手！！！！



生徒代表お礼の言葉

クラシック音楽の素晴らしさを加茂の子どもたちに目覚めさせ、その幼い心に新たな芸術文化の世界を広げていただいた岡山フィルハーモニック管弦楽団の皆様、本当に素晴らしい演奏と歌声をありがとうございました!!

(加茂支所 地域振興課)